



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



2023年度
定期総会

会員拡大、政策制度課題の 取組みの着実な前進を

JAMシニアクラブは9月2日、東京・友愛会館で2023年度定期総会を開催しました。コロナ禍により昨年、一昨年と書面審議での実施を余儀なくされましたが、3年ぶりに対面での会議が実現しました。総会はWEB併用で行なわれ、役員と代議員50名が出席(内WEB参加6名)、議長に小泉茂(埼玉)、切山義行(兵庫)の2名を選出し、会員拡大と地域活動強化の取組み、政策制度課題の取組みを柱とする新年度活動方針・予算を決定しました。

冒頭、村田きょうこ参議院議員がリモートで登壇、支援協力への御礼とともに「皆さんの声を国会に伝え、要求を実現し問題を解決していくことが皆さんへの恩返し」との力強い挨拶がありました。大山会長からはおもに6点にわたっての挨拶

がありました。①村田議員の活動と連携し社会保障の取組みを強化していく。②気候変動問題は人類にとつて喫緊の課題。現役とともに取組んでいく。③法律的根拠のない国葬には反対④介護保険制度の改善を許さない取組みを退職者連合とともにすすめる。⑤防衛費の増額や、敵基地攻撃能力の反撃能力の保持など平和国

★政策実現活動では「3年後の参院選については、出来るだけ早期の候補者擁立と政党所属の決定を」★政策制度では「フードバンクの活動を各地方で推進すべき」「認知症対策としてキャラバンネットの活動をシニアとして検討すべき」「認知症の家族をテーマにした良い映画がある。シニア会員に観てもらいたい」★組織拡大では「現役の協力を得ながら単組シニア組織を確立する道筋を本部から指導してもらいたい」「現役とシニアのマッチングを強力にすすめてもらいたい」等の意見が出され、本部側答弁のあと、活動報告と活動方針は満場一致で承認されました。その後、第2号議案「予算に関する件」第3号議案「役員の一部補充

に関する件」第4号議案「規約の一部改定に関する件」についても、若干の質疑応答のあと承認され閉会となりました。



結成20周年記念祝賀会を開催

定期総会終了後、「東京グランドホテル」でJAMシニアクラブ結成20周年記念祝賀会を開催しました。コロナの影響で昨年中止となり1年遅れの開催となりました。祝賀会にはJAM、退職者連合、シニアクラブOBなど多くのご来賓と定期総会に出席した役員、代議員の49名が出席しました。那珂副会長の開会挨拶のあと、主催者を代表して大山会長が挨拶。ご来賓を代表して、JAM安河内会長、人見退職者連合会長からご祝辞をいただきました。木村副会長の乾杯で会食に入りましたが、コロナ感染防止を意識して粛々とした食事会となり、早川副会長の閉会挨拶で終了しました。

主張



人は健康
移行、本
社会への
き続ける
歳まで働
ます。70

22年9月のJAMシニアクラブ定期総会は、対面、WEB併用で開催しました。対面は3年ぶりです。各地方シニアクラブも新型コロナウイルスの感染対策を取りながら対面の活動再開を予定しています。私たちの社会保障や平和を守る取り組みを進める力の基礎は、会員の数と絆です。残念ながら会員の減少が7年間も連続してい

現役との対話充実へ 一万人会員実現プラン シニア会長 大山勝也

態が生まれています。対面活動の再開にあたり、昨年の総会で確認した「組織拡大指針・1万人会員実現プラン」に基づき、現役との連携によって組織の拡大、会員の拡大に踏み出すこと

を維持しているものの老老介護でゆとりのない日常生活など、「自由時間」を謳歌する老後生活はすでに過去のものとなり、組織の拡大、会員の拡大には解決しなければならぬ難しい事

が必要不可欠です。まずは各地方シニアクラブの状況に合致した組織のあり方を含め、拡大に関する現役との対話を充実させましょう。

9月の総会は、村田きょうこ参議院議員誕生で迎えました。皆さんのご協力に感謝します。岸田政権の下で来年度の予算編成が進んでいます。概要要求で防衛費は約5兆6千億円、事項要求を含めると最終予算案では6兆円半ばと言われています。社会保障費は概算要求時点

の高齢化などによる自然増が5千6百億円です。この間これが最終予算案では削られてきまし

た。来年の通常国会では介護保険制度の改定が予定され、原則1割、2割、3割の利用料が原則2割とするなど、負担増、給付減が財務省から迫られています。物価高が続く中で、来年4月の年金改定額もまたもやマイナスかということも考えられます。津田弥太郎議員の時のように村田きょうこ参議院議員の議員活動と連携して、私たちの社会保障に関する取り組みを強化していきます。

また、防衛費倍増と敵基地攻撃能力・反撃能力に反対し、平和を守る活動や気候危機への取組みを強化します。

千葉 現役の「地引網」 に参加して

蝦名秀信 通信員



参院選挙で応援した「村田きょうこさん」の当選の興奮の余韻がまだ残っている7月23日。千葉九十九里海岸での、JAM東京千葉主催の「ファミリーフェスティバル地引網」に15年ぶりに参加しました。

風が出てきたとこのことで「地引網」を予定より少し早めにやり、収穫量は「6月の試し網」より魚が成長して、豊漁とのことでした。「海の家」に戻り約120人の参加者が見守る中で子供中心のゲームで子供が何個も景品をもらい「ニコニコ」している顔が印象的でした。アルコール抜きの昼食なんて、味気無いと思っ

ていきましたが、出てくる料理は見た目は普通でしたが、味が抜群でした。

これなら、アルコール抜きもありかの声が聞こえてきました。7月23日は暦では、「大暑」「土用丑の日」とありました。当然、冷凍蒲焼と土産に買った海産物で、アルコールを補給しました。

7月23日は朝から夕方まで楽しく気持のよい1日をごせました。今年の「フェスティバル」は、スタッフの懸命さが、参加者に伝わり大盛況でした。元気をもらいました。

岐阜 ボウリング大会を開催

傍島征夫 通信員



岐阜シニアクラブは、第5回ボウリング大会を8月20日(土)大垣コロナワールドキャッスルボウ

ル会場で32名の参加により開催しました。

はじめに長澤会長より、「新型コロナウイルス感染症状況の悪化が続いている中、多数の方の元気な姿を拝見でき大変嬉しく思っている。感染対策をしながら交流を深め合い思い出をつくることをお願いしたい」との挨拶がありました。

次に始球式では岩田さんが一投を投げられたところ見事ストライク、参加者全員マスクした状況での拍手と歓声が会場に響き渡りました。今回の参加者の内自分自身の健康を維持するためにボウリング会場に足を運んでいる方が多く、負けず嫌いの方ばかりでゲームが始まると本気むき出しになる方、また3年ぶりにボールを手にしたためか、

気持ちと裏腹にボールを見送る姿など様々で、たまに出るまぐれのストライクに照れ隠しの表情が可愛く見えたり、日頃のマスク生活のストレス解消で会場は大いににぎわいました。

富山 20周年記念政策研修会 を開催

松長照 通信員

9月3日とやま自遊館



において、コロナ禍もあり1年遅れでJAM富山シニアクラブ20周年記念2022政策研修会・懇親会が開催された。

連合本部生活福祉局の小林 司局長を招き、「医療制度改革、積み残された課題と連合の医療政策」というテーマで講演を受け、20周年記念というこ

ともあり、各シニアクラブの親組合の代表も参加をいただいた。全世代型社会保障検討会議報告を易しく説明を受け、シニアのみならず現役も(診療報酬増による)負担増となり、政策に対し声を上げていく必要性を理解した。

講演終了後に懇親会をおこない、組織を超えた交流にマスク越しではあるが、笑顔が絶えない時

間を過ごし、参加者一同親睦を深めた。

京都 定期総会開催

伊藤忠男 通信員

9月9日(金)京都市内のホテルで第22回定期総会を開催、総会の終了後には京都シニアクラブ結成20周年記念行事と祝賀会も合わせて開催しました。

定期総会は40名の代議員と14名の役員が出席し行いました。

今年度の活動は新型コロナウイルス感染症予防に軸足を置きつつも可能な限り通常の活動状態を目指すことを前提に、政策制度に関わる取組みは、①将来にわたって信頼と安心がで



きる年金・医療・介護・認知症対策の確立を目指す。

②今年も政策研修会を実施する。会員拡大についてはJAM京滋京都府連絡会三役との「連帯強化懇談会」を中心に現役単組への働きかけを強化し退職後の入会につなげる。会員の健康維持と親睦を図るため、囲碁大会・将棋大会・グラウンドゴルフ大会を開催、京連の行事にも積極的に参加する。などの活動方針を提案。これを裏付ける新年度予算と合わせ代議員諸氏の全会一致で承認いただきました。

総会後は本来昨年予定しながら新型コロナウイルス感染症の蔓延で延期した結成20周年記念行事と祝賀会を感染対策を十分を行い、開催しました。

記念行事はJAMシニア 大山勝也会長、現役のJAM京滋青山勲執行委員長、京退連会長木戸美一会長、福山哲郎参議院議員をはじめめとする18名の来賓の方々にも出席いただきました。また村田きょうこ参議院議員からはお祝いのメッセージをいただくなか20年の活動を振り返りました。事務局長など役員歴21年に及ぶ二階堂弘さんをはじめ松永富夫さん、田中義治さん、和田昌子さん4名の方々の功労者表彰を行いました。